



新市民クラブ

# 会派研修報告書

---

防災講座（大分大学復興デザイン研究所）

永野裕夫



2018/05/28

資料添付

## 新市民クラブ会派研修報告

新市民クラブ 永野裕夫

日時 30 年 5 月 28 日

場所 大分大学減災、復興デザイン研究センター

研修内容 防災講座と学食案内  
地域の防災を身近に感じて頂くための防災講座

### 大分大学



### 研修風景



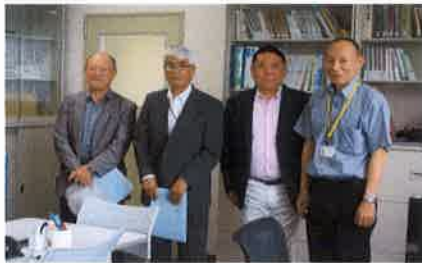


質疑風景



講義風景

事務所風景



大分大学学食



最新設備での学食に圧倒され、なおかつメニューが、多くカレーライス300円  
学生の多さにもビックリしました。

## 研修総括

大分大学減災・復興デザイン教育研究センターで防災講座を受講した。板井講師の話の中で、想定を超える経験を皆さんはしたことがなく、想像での経験値で物語を聞いて対応しているが、実は近年多発する自然災害の脅威にも我々は多様な災害リスクに対して備えが求められている。地震、津波、台風、土砂崩れ、そして火山。土佐清水市は火山帯がないからと油断は禁物だと指摘も受けた。火山灰の恐怖は遠く離れた土佐清水市においても十分被害が出る。もちろん火山の爆発規模にもよるが、阿蘇や桜島はほんの近くである。なぜなら、遠く離れた中国の砂丘の黄砂が日本にも押し寄せてくる。九州はとても近いので火山灰の被害はあり、対応能力に欠ける土佐清水市民は対応に困ると指摘も受けた。

土佐清水市においては防災、減災の取組みはなされていると考えるが、これからは復興に力を入れるべきとアドバイスを受け、特に避難場所の確保と避難所マニュアルの徹底を検討すべきと締めくくった。

講座終了後に学食に案内があった。「何で学食なのか」と尋ねれば、どこの避難所でも「食べる」「トイレ」の確保は重要課題であり、学食は集団の中の食をどう考えるかのヒントがあるとのことであった。